

入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30 年 2 月 14 日
第 23 号

来年度から試行される外国語科に備えて

1月26日（金）、入鹿小学校で、5・6年生を対象に、複式学級における外国語科の検証授業が行われました。次期学習指導要領の改訂（平成32年度）では5・6年生に外国語科が、3・4年生に外国語活動が導入されるのにもとない、来年度から移行期間に入り、それぞれの学年で授業が行われることになっています。これまでもALTを交えて外国語活動の授業は行ってきましたが、教科書があったり、ALTなしでも授業をしなければならなかったりと、小学校の教員にとっては「何をどうしていいのやら」と戸惑うばかりです。しかも、本校のように複式学級を抱える学校ではなおさらです。とは言え、開始期日はもう目の前に迫っており、具体的な方策を作っていかなければなりません。そこで熊野市では外国語教育推進委員会を立ち上げ、協議しています。その一環として、三重大学東紀州サテライトの大野先生のご協力の下、模擬授業を通してどのように授業を進めていくのかを実際に授業をしていただき、見学することで研修させていただきました。



この日は、北は紀北町から南は紀宝町まで、他の学校の先生方も参加され、見学者は総勢約20人と5・6年生の児童数よりはるかに多くの先生方に見に来ていただきました。

そのような雰囲気の中、5・6年生の児童たちはやや緊張している様子はあったものの、ラップのリズムに合わせて「I like ○○.」と言ったり、自己紹介風に自分が好きなものを「I am ○○.」「I like ○○.」と発表したりとたくさんの方々の中でも堂々と、しかも楽しそうに授業を受けていました。

『みんなでゴミ拾い』にぜひご参加を！

2月17日（土）、紀和町青少年育成町民会議主催の「みんなでゴミ拾い」が行われます。この日は土曜授業の日でもあり、小学生も全員参加します。板屋・所山方面の児童はB&G駐車場から、その他の地区の児童は大栗須金竜橋から、それぞれ入鹿中学校へ向かって8時40分からゴミ拾いをします。保護者の皆様、地域の皆様、お時間が許しましたら、ぜひご参加いただきますよう、お願いいたします。尚、雨天の場合は中止です。

手入れして きれいな花を咲かせるよ！

2月7日（水）に花の苗を植えました。これは熊野市が行っている「花いっぱい運動」の一環で、入鹿小学校では、卒業式の会場に飾って、花を添えようと考えています。この日はあいにくインフルエンザに罹って参加できなかった児童も多数いましたが、元気な子はその子たちの分まで植えてくれました。用意していただいた苗はパンジー、ビオラ、キンギョソウ、アリッサムの4種類。前回のチューリップ同様、自分の好きな苗を選んで植えていきます。市役所の職員の方に、作業の手順や植え方等のコツをその都度教えていただきながら、作業は進んでいきました。最後に水のやりと注意点や花がら摘みのしかた等、この先の手入れの方法までていねいに教えていただきました。私も以前、中学校の技術科で卒業式に向けてパンジーを育てており、その時のことを懐かしく思い出しながらお話を伺っていました。みんなで協力しながら大切に花を育て、きれいな花を咲かせたいと思います。



今年度最後の食育授業

2月8日（木）に今年度最後の食育の授業がありました。井戸小学校の栄養教諭、萩野先生に来ていただいた授業です。今回の内容は1・2年生が「はしを じょうずに もとう」3・4年生が「大豆のへんしん」5・6年生が「行事食と郷土食について知ろう」です。



この日3・4年生ではインフルエンザなどの関係で2人しか児童がいない中の授業となってしまう、担任も児童役での参加です。実は3年生の国語の教科書に「すがたをかえる大豆」という教材があり、大豆のことを勉強したことがあるので、先生の質問にも素早く答えることができ、これまでに勉強した知識を活かすことができました。



1・2年生は実際にお箸を使って正しい箸の持ち方を教わり、小さなサイコロを使って皿から皿へサイコロを移していました。様子を見てみると完璧なにぎり箸の子はいませんでした。軽度のにぎり箸やバッテン箸になる子がいて、それを正しい持ち方にしようと一生懸命にがんばる姿がとてめけなげでした。



5・6年生は郷土食としてさんま寿司やめはり寿司、さんまの丸干しなど、身近にある食べ物が登場すると子どもたちの目がいつそう輝いてきました。とてもおいしそうな授業でした。